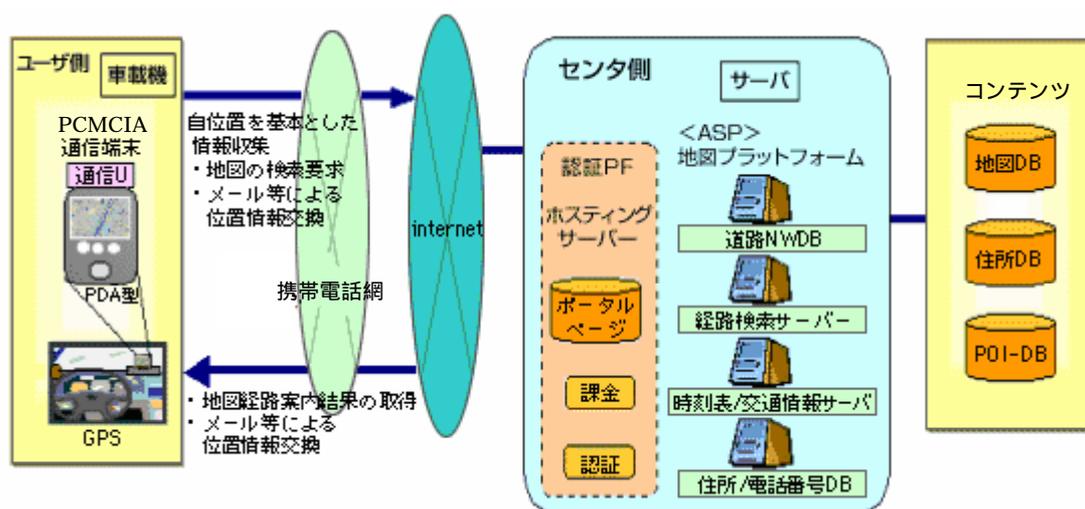


『通信カーナビ豆知識』 ITS 移動通信システム専門委員会

—— カーナビの新しい形 ——

従来のカーナビは、DVD やハードディスクに保存されている地図情報に対して経路探索する機能や、VICS 機能を搭載して交通情報を表示する機能が中心でしたが、最近は、携帯電話等を利用してカーナビへ、最新の天気予報や観光スポットなどの地域情報提供サービスを行うシステムが主流になりつつあります。さらに地図情報、地点情報や経路情報などネットワークを介してリアルタイムに配信するシステムも登場しております。

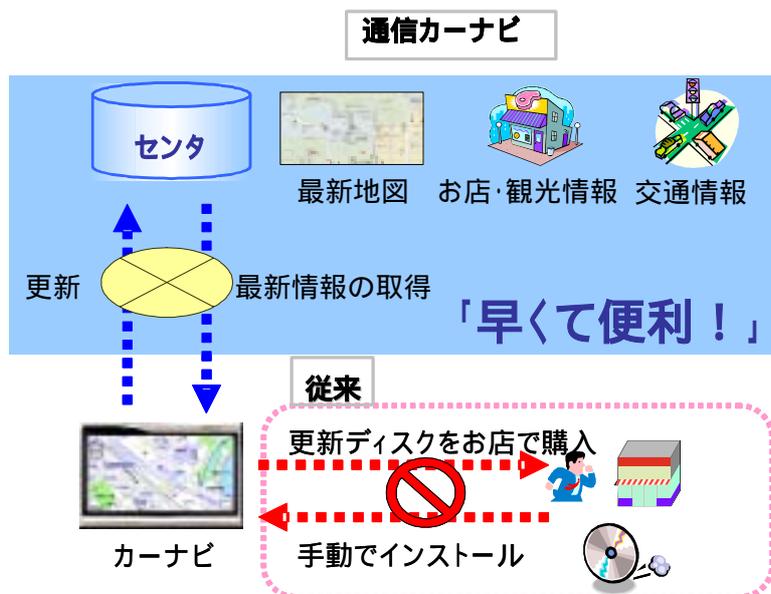
このように、ネットワークを介してカーナビに最適経路情報や近隣情報を送り、ナビゲーションを支援するカーナビを“通信カーナビ”と呼びます。



【豆知識】 今までのカーナビと何が違うの？

従来のカーナビは、DVD などのメディアに地図情報が入っていたので、新しい道路やお店ができた場合、地図情報を買って換える必要がありました。それに対して通信カーナビは、サーバ側の地図サーバから最新の地図情報を取得できるので、新しい地点情報がリアルタイムで更新できるメリットがあります。

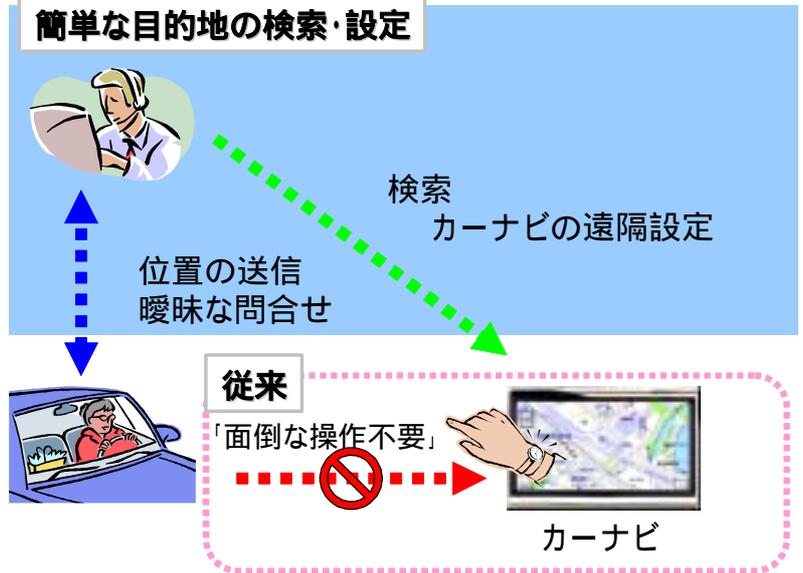
また、インターネットに多数存在するホームページからお店の情報や観光情報などを取得することができるので、車に多種のメディアを持ち込むことなく多くの情報を入手でき、車載端末の機能に左右されない無限の可能性を秘めていると言えます。



【豆知識】 操作は難しくないの？

従来のカーナビはリモコンを使った操作が一般的でしたが、通信カーナビではオペレータサービスを活用することで、高度な機能を簡単に利用することができます。例えば、通信カーナビからオペレータに目的地を伝えることで、目的地設定を代行してくれる他、渋滞を回避した最適なルート設定や、目的の店舗検索までも代わりに行ってくれます。

また、最新の交通情報チェックや、緊急時の通報等、従来複雑な操作を必要とした機能もオペレータサービスが全てを提供します。



【豆知識】 今後はどうなるの？

第3世代携帯電話による無線ネットワークの高速化が進み、これからは、通信カーナビだけで地図やお店情報のダウンロードをはじめ、メール等を利用したコミュニケーションの充実や、リアルタイムな交通情報を利用した最適ルート案内、位置情報と連携した広告配信、音楽や映像の取得、電子商取引など、車内空間を豊かにする多彩なサービスを実現できる時代が来るでしょう。さらに、

車内のみならず、自宅や会社のパソコン、PDAや携帯電話との連携といった車内外でのシームレスな利用形態が提供されていくと期待されています。

